

日本SOD研究会報

アンコール 丹羽療法レポート

最近急増している
前立腺がんこれまでの丹羽療法レポートのなかから
丹羽先生のインタビューを紹介します。

愛飲者レポート

乳酸菌発酵黒胡麻で

完治は無理と言われる飛蚊症を改善。

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802
T E L. 03-5787-3498
<http://www.SOD-jpn.org/>

男性がんの手術は

正しいのか否か

前立腺がんの場合は

がん統計白書によると、10年後に多いがんの予測順位は、1位「肺がん」2位「胃がん」3位「前立腺がん」となっています。なかでも前立腺がんは'00年比の倍、総患者数は7万8千人にものぼると予測されています。

前立腺というのは男性にだけあり、精液の一部を作る臓器です。この前立腺にできるがんが前立腺がんといい、年をとることで多くなるがんの代表とされています。高齢化社会の到来と同時に増加するのは当然と言えば当然の事なのかもしれません。男性にとつては気になるがんといえます。

症状は、尿が出にくい、尿の回数が多い、排尿後の残尿感がある、夜間の多尿、尿意切迫（尿意を感じ

じるとトイレに行くまでに我慢できない）、下腹部不快感などです。検査の結果、前立腺がんと診断されても、転移がない場合の症状は、前立腺肥大とほとんど変わらないとか。がんの中では比較のおとなしい部類なのです。

ですから、早期発見などでみつかったがんを過剰に治療しなくても、放っておいても寿命に関係ない場合が多いそうです。しかし、このがんを手術などで摘出した後、放射線照射で消滅させたりすると、副作用で尿失禁や性機能障害になります。

今回、高齢化社会到来とともに増加するとされるこの前立腺がんについて、丹羽先生にお話を伺いました。

手術をする

一生おむつ生活

——前立腺がんですが、最近、身

近なところでよく聞くようになったのですが、手術すると大変なことになるとか。

「そうです。今は、内視鏡手術などが発達し、手術に負担がかからなくなった。また精密な手術も可能になった。だから手術で取り除いたほうがいいがんも増えました。私は、常日頃、普通のがんの場合、抗がん剤治療なんていうバカな事はやめろ、手術で取りきれるといふ条件のもとでなら手術をしたほうがいい、と言っています。なぜ取りきれるといふ条件かという、がん細胞というのは、一部だけ切り取って、残りを傷つけたままに残しておく、爆発して四方八方に散るのです。例えば胃がんが肝臓にへばりついているがん。これは取っても取りきれない。なぜなら肝臓という臓器は一部だけ切り取ることができないからです。切ったら出血多量で死に

至る。そうすると、開腹手術しても開けただけですぐに閉じることになります。肝臓に限らず、とにかく取りきれないのなら取らないで開腹のみというのは医学界の常識です。よく、取りきれないで一部のがんを残して抗がん剤治療を



率先してやる医者がありますが、これは言語道断。とんでもないことです。

婦人科のがんなどは、お産のときに開腹してから卵巣がんが見つかることがある。見つけた医者は、爆発してはいけないと思って取ろうとする。しかし、婦人科系のがんはものすごくやわらかいから、

取ろうと思って引つ張り上げたら、ほんの少しでも破れることがあるんです。そうすると腹膜の中にがん細胞が一気に飛び散ってしまふ。これを腹膜播腫はしゅという。だから、がんを取るときはよほど気をつけないといけないんです。取りきれないものを残してはいけません。ましてや残して抗がん剤なんでもつてのほかです。

ところがこの常識の例外がいくつかあります。そのひとつが前立腺がんと食道がん。いまだに手術でどんどん取る医者がいるけれど、基本は取らないです。

まず、前立腺がんを手術で切ると、おしっこが自力で出せなくなる。そうすると垂れ流しになり、おむつ生活になってしまふ。後がやっかいなんです。だから普通、手術はしない。また、食道がんは、手術で切除してしまうと、一生、人工喉頭をつけなければいけなく

なり、話すことが不自由になります。

いつも言っているように私は、抗がん剤は完治するのなら使うけど、ほとんどが苦しんで死ぬだけだから使わない。

ところが、食道がんは今、抗がん剤と放射線で治るがんです。だから切つてはいけないんです」

前立腺がんは手術せず

ホルモン療法と

丹羽療法で安定

——前立腺がんは手術をしないでどんな治療をするのでしょうか？
「ホルモン剤治療です。男性ホルモンを押さえるホルモン剤があつて、この治療をすると20人中19人はいい状態になります。それと前立腺がんはほかのがんと違い、直接、死に至ることが少ないんです。治りきることもないけれど、ホル

モン剤を打って抑えていれば長生きもできるのです」

——転移なども少ないのでしょうか。

「少ないですね。何百人にひとりだけ、肺か骨に転移するという、非常に特徴的な転移をします。骨

の場合、前立腺と腰の骨の位置が近い事から、よく、腰が痛くなり、腰痛と間違えられてしまう。ちゃんとレントゲンを撮ると、骨のがんになっていたということがあります。骨のがんの大元はどこかなと調べると前立腺にがんだったということがあります。悪性だとそれくらいすぐに骨に転移します。前立腺がんは案外自覚症状がないから分かりにくい。

しかし、骨のがんくらいでは、痛いけど死なないです。死に至るのは肺に転移したがんですね。でも、それは非常に少ない。だからこのがんは普通のがんよりも長生

きできるんです」

男性は50歳を超えたら前立腺がんの検査を

「とにかく前立腺がんにかかる、男性ホルモンの働きを抑えるために女性ホルモンを投与されるんです。そうすると性欲がなくなる。

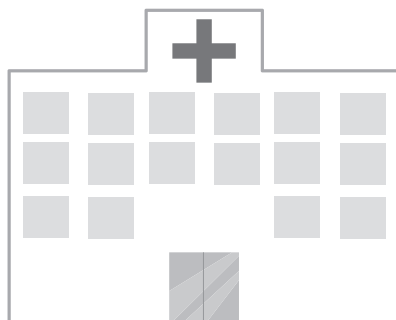
でも、4年間はホルモン治療が効いて、手術をしなくても生きていけるんです。そして私の薬を併用していけばだいたい5年から10年は大丈夫です。4年でホルモン治療が効かなくなることはないです」

——発見する方法は？

「いちばんいいのはまずPSAというマーカーがあるので、その検査をすることです。乳がんや卵巣がん、肺がんなどの普通のマーカーの該当確率は90パーセントくらいなんです。残りの10パーセントくらいは実際のがんとマーカー

が関連しない。ところがPSAだけは100パーセント一致するんです。だから、検査でこのマーカーの数値が悪かったら間違いなく前立腺がんです。

もうひとつ、人間とがんが共存して生きるのがこのがん。PSAマーカーが高くて、実際にがんが



あっても、何も治療をしなくても生きている人もたくさんいる。これも他のがんに見られない前立腺がんの特徴です」

——では、がんになっていることに気づかないこともあるということですね。

「あります。多いですね。だから尿意が近い、尿を失禁すると言う人は絶対に検査をしたほうがいいです」

——よくある健康診断でPSA検査は組み込まれているのでしょうか。

「ないんです。これだけ前立腺がんが増えてきているのだから絶対にやるべきでしょう。子宮がん、乳がん検診と同じように男性も50歳を過ぎたら検査は絶対にやったほうがいい。血液検査で済むのですから」

——SODは効果あるのでしょうか。

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎ 0120 (731) 175

もしくは

日本SOD研究会

☎ 03 (5787) 3498

まで お電話ください。

「もちろんあります。発がん原因の活性酸素を抑えるのだから、そりゃ飲まないよりは飲んだ方がいい。これは前立腺がんに限らずすべてのがんと同じ事が言えます」

※注1 PSA検査

前立腺がんを発見するきっかけとなるひとつの指標。値が血液1mlあたり4〜10 ng/mlがグレーゾーンと言われており、その場合には20〜30%にがんが発見されます。PAS値が10 ng/mlを超えると50〜80%にがんが発見されます。100 ng/mlを超える場合には前立腺がんが強く疑われ、さらには転移も疑われます。この検査は前立腺がん検査としては最も有用と考えられています。

(前立腺がん診療ガイドライン

泌尿器科学会編)

※この記事は2007年12月10日のアンコールレポートです。

愛飲者
インタビュー
SOD

完治は無理と言われる飛蚊症 乳酸菌発酵黒胡麻で 飛蚊症を改善。次は白髪に挑戦！

石田元雄さん(山形県 65歳)

山形県で接骨院を営む、石田元雄さん。仕事柄、患者さんからいろいろな健康相談を受けることが多いそうです。

「足腰の痛みや、骨のずれといった専門のことは治せるし、いくらでも改善の方法は教えられるのですが、健康全般の相談、とくに健康食品に関して、何がいいのか、これはどうかといういろいろ聞かれると、間違ったことは言えなくて、なかなか困りますよね。専門外ですから」

確かに、専門外といえば専門外です。それは、お医者さんでも健

康食品に関しては専門外。そもそも健康食品の是非を専門にしている職業は、いまのところ聞いたことがありません。私たちはどうしても、身体のことを診てくれる身近な専門家を頼ってしまいます。実際、身体の仕組みを医学的に勉強していらした先生なのですから。

「常日頃から患者さんに勧めることができないいいものを探してはいるんです。しかし、健康食品は本当にたくさんの種類が出ていますし、成分だけでは判断できない。加工法などもあり、どんな効果が

あるのか分かりにくく、難しいというのが本音ですね」

石田先生のもとには、たくさん健康食品サンプルや資料が送られてくるそうです。そのなかからいいものを探すことは大変だと思っています。にもかかわらず乳酸菌発酵黒胡麻を取り扱うようになった理由は

「ゴマが体にいいことは誰もが知っていることですよね。特に最近、セサミンなどの成分の分析や効果が発表されて、間違いないと思いました。それに、資料を読んでも納得できるしかりしたものであったから」と言います。

「本当は、私が自分で試していかどうか判断すればいいのでしょうが、私自身が健康で病氣らしい病氣をしたことがなかったものですから」

病氣をしたことがないのを申し

訳なさそうに話す先生。

「ですから、せめて、成分が安心できて体にいいものを、を基準にしているんです。その点、ゴマは間違いない」

ある日突然、

目に黒い点が
蚊のように飛んでいた

65歳になる石田先生。これまで健康そのもので、60歳を過ぎたとき、家族の説得で数十年ぶりに健康診断を受けたときも、どこにも異常はなかったそうです。一日に一箱タバコを吸い、特別な健康管理はしていないといっています。

「唯一、気をつけたことは、おそらくストレスをためないように心がけたことでしょうね」

丹羽先生がいつも、病気になるいちばんの原因は、睡眠不足とストレスだと言います。石田先生の

ストレスをためないようにするとするのは素晴らしい健康法でした。

ところが、去年の暮（2013年）、そんな先生が、寄る年波には勝てないなど思ったことがありました。

「一週間くらい、根をつめて書類を作成しなければいけないことがあったんです。作業を終えてホッとしたときに、何か目の前に蚊のようなものがくっついていて離れないんです。その点は目の動きに合わせて動く、まるで瞳にはりついたゴミのような感覚でした。職業柄、ああ、これが飛蚊症なんだ、とうとう自分も発症したかと思いました」



先生が自覚症状を認識した飛蚊症とは、読んで字のごとく、飛ぶ蚊。目の前に「黒いものがとぶ」ことを指します。蚊が飛んでいるように見えるという意味ですが、

実際にはこの他に水玉、ハエ、黒いスス、糸くず、お玉じゃくし、輪などが見えることもあります。また黒いものから透明なものまで色もさまざまで、数も1個から数個、時に多数のこともあります。これらは目を動かすと、目といっしょに動いて見えます。

飛蚊症は、視界のなかに黒い糸くずのようなものが動いて見える症状のことです。眼球の硝子体に濁りができたために起こる症状とか。本来、透明なはずの硝子体に、なんらかの原因で濁りができると、その影が網膜に写り、目の前に見えるようになるそうです。一般的には老化現象のひとつとして発症するケースが多く、失明な

どの恐れはないそうですが、物が見えづらくなつて、日常生活に支障をきたすことがあるそうです。

また、網膜剥離や糖尿病網膜症でも同様な症状がみられることがあります。なので注意は必要だといえます。治療法は特になく、発症したらずっと付き合っていくつもりでいたほうがいいと言われています。また、慣れると気になることが少ないとも言われています。最近では、レーザー治療で治す方法がアメリカから輸入されていますが、まだまだ日本ではほんのわずかのクリニックでしか対応していないそうです。

乳酸菌発酵黒胡麻の

おかげと確信

肌荒れ、不眠にも効果的

石田先生は、即座に

「これは老化現象だなと思いました」

と判断。

「物は見づらくなるし、眼は疲れやすくなっていました。人は眼になんらかの変化があると集中力が落ちるんです。ほんと困りましたね。しかし、眼科の病院に行っても、飛蚊症は治療することがないから何もしてくれないのは分かっていましたから、病院にしろうとは思いませんでした」

そんなときにいつも患者さんから「なにかいいサプリメントはないですか？」と聞かれていたことを思い出しました。病院でなすべがないなら食事やサプリで、自力で治すしかないと思ったそうです。

「こういうときこそ健康補助食品、サプリメントがいかもしれないかと思つたときに、いちばんに浮かんだのが乳酸菌発酵黒胡麻でした。飛蚊症も老化現象のひとつだとしたら、乳酸菌発酵黒胡麻も効

果があるに違いないと」

直感的にピンときたそうです。そして試しに、乳酸菌発酵黒胡麻を一日一包飲み始めました。

「そうしたら、2か月くらいで黒い点が少しずつ薄くなり、3か月後にはまったくなくなったんです」



この現象がご自身だけだったから、たまたまなんだと思つたかもしれせん。しかし、同じように乳酸菌発酵黒胡麻を勧めていた飛蚊症の患者さんたちも、どんどん良くなっていたそうです。

「もうこれは間違いなく乳酸菌発酵黒胡麻のおかげだと思いまし

た。確信が持てました」

このことがあつてから、乳酸菌発酵黒胡麻への信頼を深めたという石田先生。体の不調を訴える人には前以上に自信を持つて勧めるようになったそうです。

「便秘や不眠、肌荒れにもいいよ」で、今では様々な悩みを抱えた方が飲んでいますよ。最近ですと、サメ肌で困っていたお子さんが乳酸菌発酵黒胡麻を飲み始めてから、肌が本当にきれいになつて、親御さんに大変感謝されました。乳酸菌発酵黒胡麻さままだとおっしゃっていましたよ」

飛蚊症が治り、集中力が戻つ

てきた石田先生。乳酸菌発酵黒胡麻という強い味方を得て、治療院のお仕事にもやりがいと張り合いを感じるそうです。そして今度は、

「白くなつてきた髪を黒く戻したいんです。まだ効果は実感できていませんが、長い年月をかけて白くなつたわけですから、氣長にチャレンジしますよ」

と快活に笑つておっしゃる石田先生。白髪改善が見られたら、ぜひともまたご連絡ください。楽しみにお待ちしております。

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区
玉川 1-15-2 B棟2802
日本SOD研究会 宮城宛
TEL 03-5787-3498

までご一報下さい。

黒ゴマの驚くべき!

健康効果



ゴマの優れた栄養成分の
体内での働きについて

黒ゴマキャラクターのゴマっちです。
黒ゴマの健康効果についてお伝えします!

古くから、ゴマを食べると若々しく健康に過ごせ
るといわれてきました。このゴマの健康パワーの源
といえるのが、ゴマに含まれる希少成分のゴマリグ
ナン類、その主成分であるセサミンです。ゴマ歴史
と抗酸化作用についてレポートしたいと思います。

ゴマの歴史

ゴマ発祥の地は、アフリカのサ
バンナ地帯と考えられています。
人類がゴマを利用してきた歴史
は古く、世界各地にゴマの記録が
残されています。

エジプトやインドでは医薬品な
どとして、メソポタミアでは神事
に用いる神への捧げものとして珍
重され、一部の特権階級にしか手
に入らない貴重な食品だったよう
です。中国最古で、漢方の原典
といわれている『神農本草経』で
も、日々ゴマを食べることで老化
が防げるという記述があります。

不老長寿の食べものとしてゴマの
効用には、古代の人々も注目して
いたようです。

日本でも古来より、ゴマは万
能調味料として、また健康に優
れた食品として珍重され、幅広
い料理に利用されてきました。
なかでも、精進料理では、ゴマ
は貴重なタンパク源として、ゴマ
豆腐やゴマ和えなど、様々な料
理に加工され、私たちにもおな
じみの料理も古くから食されて
きたのです。

ゴマの栄養成分

ゴマはビタミン、ミネラル、食
物繊維などさまざまな栄養成分
を豊富に含む食品です。ゴマの主
成分は油脂が約半分を占めます
が、含まれている脂肪酸の8割以
上がリノール酸とオレイン酸で、
これら2つの脂肪酸は「不飽和脂
肪酸」と呼ばれるものです。

また、約20%を占める植物性タ
ンパク質は、肝機能を高めるメチ
オニン、肌や髪の毛を健康に保つ
トリプトファンなど、人体に必要
なアミノ酸を豊富に含み、骨の健
康に必要なカルシウムの量は同量
の牛乳の約11倍、貧血を防ぐ鉄分
も同量のほうれん草の約5倍も含
まれているのです。また、黒ゴマ

ゴマ(乾燥)100gに含まれる栄養成分

エネルギー	578kcal
タンパク質	19.8g
脂質	51.9g
炭水化物	18.4g
ナトリウム	2mg
食物繊維	10.8g
カルシウム	1200mg
鉄	9.6mg

出典：五訂食品成分表 2006

古来より様々なかたちで利用されてきたゴマ。
この健康に優れた食品をぜひ毎日の食事で有効
的に摂るように心掛けたいものです。



に含まれる「アントシアニン」と
いう色素はポリフェノールのひと
つで抗酸化作用があります。

ゴマに含まれる抗酸化物質とし
て有名なのが、ゴマリグナン類の
ひとつであるセサミンです。ゴマ
1粒に約1%というわずかな量し
が含まれないゴマリグナン類は主
成分のほとんどがセサミンで占め
られます。

セサミンは長期間体内に蓄積さ
れることなく体外へ排出されてし
まうので、毎日の食事で定期的に
摂取することが理想ですが、一日
で大量のゴマを摂取することは現
实的にもなかなか難しいと思いま
す。そこでサプリメントなどでセ
サミンを毎日摂取するのもひとつ
の手段ではないでしょうか。

つつく